

No. 97

2015年（平成27年）

11月1日

発行

浄土真宗本願寺派
和歌山教区日高組

責任者

片桐 浄映



たかい山から
お寺をみれば
ご恩とうとや
たから山

妙好人
六連島のお軽



日高組「子どものつどい」ーキッズサンガー

ヒダカくん・ひかりちゃんの

『御文章』のお話 その一

ヒダカ「ひかり」の『阿弥陀経』の話は難しかったね。蓮如さんや蓮如さんの『御文章』について話そうと思っ
ているんや。

ひかり レンニヨさんと言えば、五百回遠忌法要に本願寺にお参りに行ったわ。本願寺の第八代目のご門主で、さびさびとしていてボロボロの本願寺を新築したのはた人で、五回結婚して。

ヒダカ やっぱりちゃんと話しておかなあかんみたいやな。『御文章』というのは。

ひかり そうそう、ご法事のお経の後、「あー、やっと終わった。さあ立とうか」と思ったら、ヒダカくんが振り向いて、ありがとうーいお説教をして、その後、何やら節の付いたのを読んで、みんなは頭を下げているあれやね。

ヒダカ あのね！。

『御文章』というのは、蓮如さんが各地の門信徒に宛てたお手紙です。これを孫の円如さんが集めたもの（実際は実如さんが編集した）。全部で二百十九通あるのを、五巻（五帖）八〇通にまとめたのが『御文章』です。ひかり 二百十九通もあるの。これを毎月一通勉強したとしても、十八年もかかるわー！。

ヒダカ その時幾つ？

ひかり 二十歳か、二十一歳かな？

ヒダカ 誰の年を数えるの？

ヒダカ ここでは代表的なものをピック・アップしてお話するから。

ひかり 『御文章』にはどういうことが書いてあるの。ヒダカ 『御文章』の性格を簡単に言うと次のようになるよ。

- ① 親鸞さまのみ教えは、漢文のものが多く、読み違えるし難しい。「御文章」は当時の言葉で、仮名の文章だから、読み違えない。
- ② 字の読めない人に、読んで聞かせても信心をいた
だける。
- ③ 親鸞聖人の「たのむ一念」を「雑行を捨てて」と具体的に示されている。
(永原智行)

『入仏法要に思う』

先日、ご門徒のお宅で入仏法要をお勤

めしました。ご当主は、ご分家された、次男の方でした。以前から、お仏壇をお迎えしたいと思っておられました。周りからは、亡くなった方もいないのに仏壇なんか置いてはいけいと言われ、迷われていたようです。

表白に、「・・・今日、ここにお迎えした。阿弥陀如来のお姿は、大悲をもって空中に住立された。住立空中尊をかたどり、撰取して捨てずと誓われた本願のままに、念仏の衆生をお救いくださる姿であります。このうちは、家族一同阿弥陀如来を心の依りどころとし、日夜礼拝を怠ることなく報恩謝徳の生活にはげみますことを・・・」とあります。

お釈迦さまの説法に応じて、お出ましになった阿弥陀如来を住立空中尊といいます。煩惱深き衆生を救わねばと、立ち上がり、まさに今、一步、踏み出そうとなさるお姿であります。この阿弥陀如来のお姿をご安置したお仏壇は、家庭の

中心となり、心のよりどころとなります。亡くなった方がいないから不要だと考えるのは大きな間違いです。ご門徒であれば、その家々にお仏壇を設けるのが本来のあり方です。

ただ、お仏壇を中心とした暮らしと、いっても、生活の多様化した今日では、家族そろって毎朝夕、礼拝するという訳にはいかないかも知れません。仕事などの関係で、同じ家に住みながら、家族が、何日も顔を合わせないということもあるかも知れません。

そんな生活の中でこそ、お仏壇を中心にした暮らしが大切になってきます。家族そろってお参りすることができなくても、親は親で、子は子で、朝夕、かならずお仏壇の前で手を合わせる。それは、ただ親と子が同じ行為をしているというだけでなく、お仏壇の前で、一つの思いにとけあうこととなります。その思いとは感謝の心であります。

入仏法要で手を合わせていらっしやるご家族のお姿を拝見し、ありがたご縁にあわせていただいたと思わせていただきました。

(亀井真竜)

法悦クイズ

親鸞聖人のお師匠さんは誰でしょう？ 次の1～3の中から一つ選んで番号を書いてください。

1. 聖徳太子
2. 法然聖人
3. 蓮如上人

96号の正解は、「2. 仏さまのお心を光明で味わう」でした。正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由良町	久保千代子様	由良町	中崎工ミコ様
由良町	浜上由美子様	由良町	大浦 洋子様
由良町	濱口 直子様	由良町	上道千津代様
由良町	松下 正勝様	由良町	松下 光男様
日高町	藤原 寛様		

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、所属寺、ご感想・ご意見等を明記の上、下記までお送りください。

〒649-1223
日高郡日高町小浦195
円行寺内 日高組事務所

※抽選で10名の方に粗品を進呈いたします。

※締め切り日
平成28年1月20日(必着)

※発表は次号

お彼岸

お彼岸はインドにも中国にも見られない日本独自の風習ですが、「彼岸」という言葉自体は仏教用語です。我々の住んでいる迷いの娑婆世界「此岸」に対する向こう岸「彼岸」、すなわち仏の世界に至ることを意味します。（到彼岸）そしてそのために実践しなければならぬ修行「布施、持戒、忍辱、精進、禪定、智慧の六波羅蜜のこと」に勤しんだ期間とされています。しかし、それがなぜ先祖供養のための日になり、特に春分・秋分の日を中日とした期間を定めて、強調されるようになったかについては諸説ありますが、時候もよく、太陽が真西に沈む時期故に、西方極楽浄土の阿彌陀仏を礼拝するのに相応しいからといわれる説が有力です。

今、お彼岸は仏道修行の

期間だと述べましたが、私たちの浄土真宗では、我々凡夫は煩惱にさえぎられ、自力で修行し善を積むことは出来ないというみ教えです。阿彌陀さまのお念仏のみ教えによって救われる私たちは、仏道修行が出来る身ではないのです。したがってお彼岸は阿彌陀さまのお徳を讃え、み教えに遇う大切なご縁としていただくのが良いでしょう。日高組各寺院では「彼岸会」が勤められていますので、法要に参拝し日頃忙しいわが身を振り返り、仏教の教えを聴聞されてはいかがでしょうか。お墓参りだけでは得られない何かに気付かされることでしょうか。

（湯川千秋）



門徒心得

「ご本尊」

浄土真宗のご本尊は、阿彌陀如来（南無阿彌陀仏）です。阿彌陀如来の木像や絵像、あるいは名号を礼拝の対象としています。

浄土真宗の開祖、親鸞聖人さまは、自らの修行や努力では成仏できない存在であることを見抜き、阿彌陀如来のご本願に出逢うことこそ私が救われる道であることに気付かれました。

改めてお仏壇を拝見してみましよう。ご本尊、阿彌陀如来（南無阿彌陀仏）ですね。それ以外の仏さまなど安置していませんか。浄土真宗は「阿彌陀一仏」を礼拝の対象とします。

そして、ご本尊の脇掛けとして、向かって右に親鸞聖人の御影、又は十字名号「帰命尽十方無碍光如来」、

左側に蓮如上人の御影、又は九字名号「南無不可思議光如来」を安置すると、とり決められています。

真宗では「位牌」は使いません。死者の霊が一枚の板に宿るとする考えからですが、浄土真宗ではそうした考え方は否定しています。お仏壇に古くからの「位牌」など有ればご住職さんに相談してみましよう。

ただ、葬儀の際に、白木の位牌を用いる場合がありますが、葬儀、あるいは四十九日（中陰）法要がすめば処分し、故人の法名や往生日などは「過去帳」に記載しておきましょう。

ご本尊、阿彌陀如来は、私たち迷いの衆生を救おうとして仏になられた仏さまです。私が阿彌陀仏の願い（誓願）を聞信し、お念仏申させていただくご宗旨なのです。

（鈴木悟峰）

読者の声

※私は由良町の蓮専寺の御住職様や坊守様に大変お世話になってます。「ひかり」を持ってきて下さるのを毎回楽しみにして読ませていただいています。ですが、忙しいときはつい読み逃してしまうこともあります。これからも楽しみにして待っています。

※今年の夏は、格別の暑さで心身共に大変な夏でしたが、無事に今年も秋彼岸を迎えられます。ありがとうございます。

※法悦クイズなど、いろいろ楽しみで勉強になります。いつもありがとうございます。

※いつも「門徒心得」を楽しんで読ませていただいています。知識が身についてうれしいことです。※私は那賀郡生まれで、若い頃は働くことで、浄土真宗の事はあまり知りませんでした。父、母、夫を亡くし、「ひかり」やお寺参りでいろいろ身につけています。

蓮専寺報恩講

詩吟「親鸞聖人」より始まる

十一月二十九、三十日の蓮専寺御正忌報恩講は、責任役員の中谷信義さんの詩吟「親鸞聖人・雪中布教の図に題す」より始まった。中谷さんはご開山様の正面に向き合い着座。音楽が流れる中、朗々と吟じていきます。

「くさむくとも

袂に入れよ

西の風

みだのくにより

吹くと思えば」

約四分の詩吟の後、正信偈「五十六億七千万」のご和讃六首引き。

山口県の深川倫雄和上が「古来、地方によっては、ご開山様ご命日・御正忌報恩講は『五十六億』のご和讃を大切に用いる」と仰っています。

そのあと当日、布教使の都合により、当山住職が詩吟の内容が関東二十四輩



「枕石寺」・倉田百三の戯曲「出家とその弟子」であること、登場人物、日野左衛門頼秋がご開山のご門弟「入西」であり御伝鈔上巻第八段「入西鑑察」に出てくることを受け御絵伝の絵解き法話・一座二席のおとりつぎがあった。

（岩崎法明）

日高組通信

☆行事報告

・キッズサンガIN光専寺
八月二十二日（土）由良町里 光専寺に於いて、日高組主催平成二十七年年度キッズサンガ「子どもつどい」が開催されました。

・「仏の子」総代会・仏教婦人会・寺族青年会・寺族婦人会など様々な年齢層の皆さんがお寺につどい、主役の子どもたちとともに楽しいゲームや仏さまのお話を聞くことで「遊び・学び・ふれあう」大切な機会であります。

今年も児童二十五名と前述の教化団体の皆さんはその倍以上の五十数名が参加しての盛大な集いとなりました。

・第三ブロック門信徒総研修会（聞法の集い）
九月五日（土）和歌山教区第三ブロック（日高・御坊・紀南組）門信徒を対象とした門信徒総研修会が御坊市民文化会館で開催され、

総勢二五〇名を超える門信徒が集いました。日高組からは六十名が参加いたしました。

【教えの三要素から】
・他力本願
・往生浄土
・悪人正機
やさしい言葉でお話し下さいました。

☆行事予定
・日高組「真宗法座」
日高組第21回「真宗法座」を次の通り開催いたします。

日時 12月13日（日）
会場 即生寺（日高町志賀）
講師 若林 眞人師
一人でも多くの参加をお待ちします。お誘いの上ご参加ください。

・第7回連研
日時 2月6日（土）
午後1時30分から4時
会場 阿戸・教専寺
内容
・正信偈和讃・六首引
・正信偈について
・話し合い法座

第25代専如門主 伝灯奉告法要

日高組参拜日が左記の通り決まりました。ご法縁です左記日程にならつてお参りいたしましょう。

- 一班 教専寺
- 平成28年10月8日（土）
- 二班 長覚寺・一行寺・円照寺
- 平成28年10月23日（日）
- 三班 妙願寺
- 平成28年11月5日（土）
- 四班 衣奈・白崎・由良地区寺院
- 平成29年3月12日（日）
- 五班 志賀・比井崎地区寺院
- 平成29年3月26日（日）

